

茶畑の栽培

アメリカの白人女性から日本茶を入れて頂いたことがある。彼女から「これくらいの色でいいのかしら？」と。外国人には日本茶を飲む習慣が全くないのだ。私はこれまであまり意識して飲むことはなかったが、実は日本茶の成分には大変な効果があることが分かってきている。茶カテキンの殺菌力は食中毒を予防する効果があり、更に渋味の主成分には発がん作用の抑制力もあるようだ。また肥満の方には気になるカロリーはゼロ。そしてカルシウム・カリウム・ナトリウムなどその他多くのミネラルを含んでいる。

鹿児島県南九州市知覧町で栽培されている茶畑を見学した。そこは見渡す限り整列された見事な茶畑であった。場所的に温暖で南向きの日照条件に恵まれ、近くにある桜島の火山灰による肥沃な土地である。

お茶といえば静岡県（全国の4割以上を占める）のイメージがあまりにも強いが、鹿児島県のお茶の生産量は静岡県の半分で日本第2位を誇っている。中でも知覧茶は全国茶品評会で連続日本一を受賞するなど品質には高い評価を得ている。ちなみに3位は伊勢茶の三重県、4位は宇治茶の京都府、5位は八女茶の福岡県と続く。その他、量は少ないが狭山茶の埼玉県も有名である。何故か執筆中だが急にお茶を飲みたくなった。

撮影 2012年冬

